

「農地農政相談日」に委員による地域計画の見直しなど意見交換を実施」

京都府 福知山市農業委員会 三和地区営農推進協議会（以下「地区推」）

1 農業委員会の体制と市町村行政との連携状況

○ 農業委員	:	2名
○ 農地利用最適化推進委員	:	3名
○ 事務局職員	:	随時参加
○ 関係団体（JA京都にのくに三和支店農業振興係）		1名
○ 市町村行政との連携状況：市農林業振興課総括推進員		1名（三和支所駐在）



2 地区の特徴、状況、課題

- 福知山市は平成18年1月に旧三和町・旧夜久野町・旧大江町を編入合併し新市として発足した。
- 当地区は由良川水系土師川の最上流部に位置する旧三和町で、21集落（＝農区）の全てが中山間地域である。
- 京野菜等の新規就農者定着が著しいが、集落営農組織の高齢化や耕作が困難な農地が増えている。
- 毎月10日の農地農政相談日と、18日の地区推定例会（＝農区長会）を委員が中心に取り組んでいる。

3 委員による継続した話し合いの取組内容

- 令和●年3月に各農区単位の京力農場プランを三和地区として一本化して策定。
- 令和6年●月の地区推定例会で地域計画の説明を受け農区話し合いと目標地図作成を依頼。
- 令和6年12月地区推定例会でワークショップを開催し意見交換と意見集約を行う。
- 令和7年1月の地区推定例会で地域計画案が提起され、最終調整の協議に入る。
- 令和7年2月の第37回三和町集落営農推進大会で農区役員等に地域計画案を説明。

4 成果（地域計画の実行に向けた取組内容）

- 農地農政相談日の空き時間を利用し、農地相談内容も含めた委員による地域計画の見直しなどの意見交換をさらに進める。
- 新規就農者の受入体制をさらに整備し、移住や農地情報を提供出来るように、地区推定例会などを通じて進める。
- 平成7年度の中山間・多面的交付金制度の全体見直しと地域計画の整合性と交付金の活用により農地保全に努める。

※事例候補（地区連絡会議の単位が望ましい）の選定や作成にあたっては、農業会議の現地推進役と相談してください